## その他施設について

- - ・雨天時の対応から、透水性ブロックを使用します。
  - ・噛み合わせ式ブロックを使用することで、段差や 不快な振動が生じにくく、車イスや自転車、ベビ ーカーなどの走行にも負担がかかりません。
  - ・ブロックの色彩は、安全性等を確保する観点から、 歩行者を暖色系、自転車を寒色系に区分します。





(歩行者)

(自転車)

- ◇ 環境影響評価書の中では、遮音壁について、環境対策上必要な区間に設置し、騒音の 低減に努めることとしています。
  - ・遮音壁は、沿道地域の特性に合せて、高さ1mの透明タイプと、高さ1.5mの透明・吸音を組み合わせたタイプを使用します。





(透明タイプ)

(透明・吸音を組み合わせたタイプ)

◇ なお、騒音対策については、車道部を低騒音舗装とすることにより、一層の騒音低減 に努めます。

### これまでの経緯と今後の進め方について

#### 平成24年度

◇ 「歩道の整備等に関する検討会」を設け、放射第35号線に接道する方々のご意見を 伺いながら、歩道の整備計画(素案)を作成するとともに、その検討結果について、 放射第35号線沿道周辺地区の皆さまにアンケート調査を実施しました。

### 平成25年度

- ◇ アンケート調査の結果を踏まえ、<u>歩道の整備計画案</u>(今回お配りした資料)を作成し、 関係機関(警視庁、練馬区等)との協議・調整を行います。
- ◇ 関係機関との協議・調整により歩道の整備計画を確定させた後、歩道整備に関する設計を進めていきます。

#### 「平成26年度以降)

◇ 北町地区より順次、歩道の整備工事に着手していく予定です。

# お問い合わせ

東京都 第四建設事務所 工事第一課 設計担当係 電話 03-5978-1730 FAX 03-3947-1419 平成 25 年 12 月東京都第四建設事務所 工事第一課

# 放射第35号線 歩道の整備等に関する検討会(とりまとめ案)]

◇ 歩道の整備計画案は、次のような方向性で作成しました。

# 多様な利用者に対し安全性と快適性に配慮した歩道を整備します

- 歩行者通行帯と自転車通行帯は、基本的には構造的に分離し、安全性を確保します。
- 歩行者通行帯は広めに整備し、快適性を確保します。
- 自転車通行帯は広い植樹帯の歩行者側に配置し、相互通行方式で可能な限り連続的に整備します。
- 歩行者通行帯と自転車通行帯の舗装は、色彩を区分し安全性を確保します。

# 潤いや安らぎを創出する緑や景観等に配慮した歩道を整備します

- 植樹帯は、道路景観の向上、交通安全の確保、緑陰確保等を図るため、高木、中木、低木 を組み合わせ連続的に整備します。
- 高木は路線のシンボル性、中木は花木の鑑賞性や視認性に留意し、低木は面的な連続植栽により、極力緑量を確保します。
- 騒音対策については、遮音壁の設置や低騒音舗装など、必要な対策により騒音低減に努めます。

# 歩道の整備計画案 放射第35号線 〔歩道の整備等に関する検討会(とりまとめ案)〕 E-E 断面 A-A 断面 凡例 凡例 高木(クスノキ) 歩行者 高木(ハナミズキ) 自転車 中木(トキワマンサク) 3.5m 1.0m 2.0m 3.5m <del>該首號 高</del> 歩行者 自転車 植樹帯 車道 遮音壁 高さ1.5m 植樹帯 歩行者 自転車 植樹帯 車道 高木: クスノキ+ハナミズキ(白+赤) 植樹帯 中木:トキワマンサク 10.0m 車両の出入口 低木:ハクチョウゲ(中央),キンシバイ(車道側) B-B 断面 至 春日町 高木: クスノキ+ハナミズキ(白+赤) 高木:ハナミズキ(白+赤) 中木:トキワマンサク 中木:トキワマンサク 低木:ツツジ(中央),ハクチョウゲ(車道側) 低木:ツツジ(中央),ハクチョウゲ(車道側) 遮音壁 高さ1.0m 地下施設への 出入口 自転車 歩行者 車道 F-F 断面 環状8号線 1,5m 4. Om 4.0m 1.0m 3.5m 副道 植樹帯 歩行者 車道 植樹帯 田柄川緑道 至 川越街道 C-C 断面 3.5m 1.0m 2.0m 2.0m 遮音壁 高さ1.5m 自転車 植樹帯 車道 自転車歩行者 4. Om 高木:ハナミズキ(白+赤) 高木:ハナミズキ(白+赤) 中木:トキワマンサク 歩道の整備等の検討にご参加いただいた皆様 低木:ビョウヤナギ(中央),ツツジ(車道側) 東京都第四建設事務所 ※本最終案については、今後、関係機関等との協議・調整が必要となります。